

FUJII PIANO SERVICE

グランドピアノの“あの”響きを、タッチを、アップライトピアノに。

# グランフィール



*Granfeel*®

今あらたに、ピアノの歴史が刻まれる。

## ピアノ誕生から300年。

---

ピアノは、18世紀初頭まで主流であったクラヴィコードやチェンバロが発展した楽器です。

1709年、イタリア人のチェンバロ製作者バルトロメオ・クリストフォリが打弦機構を持つ新しい楽器“ピアノ”を発明しました。当時の名前は、“クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ (Clavicembalo col piano e forte)”。直訳すると、大きな音も小さな音も出せるチェンバロです。鍵盤楽器であるチェンバロは、弦をはじいて音を出していたため、強弱はほとんどつけられず、音量も小さいものでしたが、打弦機構を持ったことにより、クラヴィコードとチェンバロの長所(音の強弱と音量)を併せ持った楽器となったといわれています。



# History

## [ピアノ300年の発達史]

1709年

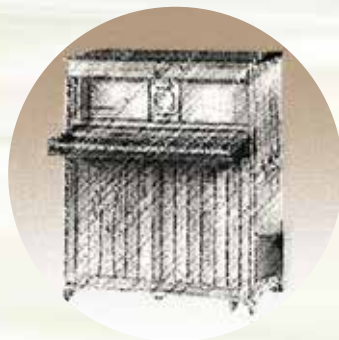
イタリアのバルトロメオ・クリストフォリが最初のピアノを発明。



1800年

アメリカのジョン・アイザック・ホーキンスがアップライトピアノの原型を発明。

場所をとらないという利点から広く普及。



1821年

フランスのピエール・エラールがグランドピアノのためにレペティション機構を発明。

高速な連続打弦が可能に。



2009年

藤井幸光がアップライトピアノのためにレペティション機構を発明。特許取得。

グランドピアノの機能を持ったアップライトピアノの誕生!





ピアノを愛する方へ、次代を担う子どもたちへ。

「できることなら、最初からグランドピアノを……。けれど、価格が、場所が。」

そんなたくさんの声にお応えして、

グランドピアノの機能を持ったアップライトピアノを作りました。

その名も“グランフィール”。

ピアノを愛する方、次代を担う子どもたちのために

ピアノの匠・藤井幸光の手で、一台一台綿密に作り上げています。

ピアノの匠 藤井 幸光  
Yukimitsu Fujii

# Spirit

必要としている人がいるから作る。この機能を必要としている子どもたちがいるはずだ。 — 藤井幸光

“グランフィール”の発明者であり、ピアノ調律師であり、そして、藤井ピアノサービス代表である、藤井幸光。

そんなピアノの匠は、こう語りました。「必要としている人がいるから作る。この機能を必要としている子どもたちがいるはずだ」と。

そんな熱い思いをカタチにした“グランフィール”は、今、あらたな風を巻き起こしています。

“グランフィール”を作るきっかけになったのは、一生懸命アップライトピアノで練習している子どもたちの姿、そして声でした。

ピアノの仕事に携わって30余年、「せっかく毎日練習したのに、発表会やコンクールで弾くグランドピアノでは思うように弾けない……。」という多くの声を聞きました。

緊張も一因にあるでしょう。しかし、グランドピアノとアップライトピアノには性能に大きな差があり、いくらアップライトピアノで練習しても、本番ではグランドピアノとなると、タッチや音質にどうしても影響が出てしまうのです。

そして、もう一つ決定的な違いがあります。グランドピアノとアップライトピアノでは、前腕の筋肉の使い方が全く異なるのです。

グランドピアノで演奏する時は、前腕の手の甲側にある伸筋はほとんど使わないのに対し、アップライトピアノを演奏する時は、前腕の手のひら側の屈筋と手の甲側にある伸筋を鍵盤を押さえるたびに交互に使う必要があります。

指を上げたり下げたりする運動は、前腕の伸筋と屈筋を使います。上げる動きと下げる動きが同時にできないように伸筋と屈筋も同時には運動できません。鍵盤を押さえるために指を下げると、手のひら側の屈筋が収縮して手の甲側の伸筋は緩んでいる状態になります。逆に鍵盤から指を離すために上げると、手の甲側の伸筋が収縮して手のひら側の屈筋が緩むことになります。

グランドピアノの構造は、弾いた鍵盤の指の力を抜くだけで鍵盤が指を押し上げてくるレペティション機構を備えているので演奏者にとって、とても有難く有利です。

しかし、従来のアップライトピアノの構造では、自分の力で指を持ち上げなければ次の打鍵はできず、肩や使わなくてもよい別の筋肉に力が入ってしまい、結果的にグランドピアノを弾くより難しい動きが要求されてしまいます。

今回、私が発明した“グランフィール”は、グランドピアノの機能を持ったアップライトピアノです。レペティション機構を搭載することで、よりコントロール性が向上しています。

The logo for Granfeel, featuring the brand name in a stylized, flowing script font. The letters are primarily purple with a light blue or teal gradient on the left side of the 'G' and 'a'. A registered trademark symbol (®) is located at the bottom right of the logo.



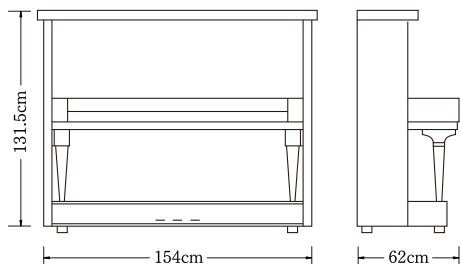
**C. BECHSTEIN**

*Granfeel*<sup>®</sup>

**C. BECHSTEIN**  
Concert 8

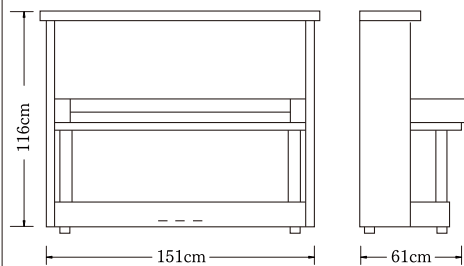
*Granfeel*

- ・黒艶出し仕上げ
- ・3本ペダル/弱音装置付
- ・重量 258kg



# BECHSTEIN B-116 Accent Granfeel

- ・黒艶出し仕上げ
- ・3本ペダル/弱音装置付
- ・重量 238kg





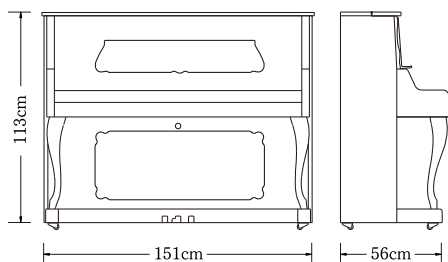
**C. BECHSTEIN**

*Granfeel*<sup>®</sup>

**W. HOFFMANN**  
**V-112C**

**Granfeel**

- ・黒艶出し仕上げ
- ・3本ペダル/弱音装置付
- ・重量220kg

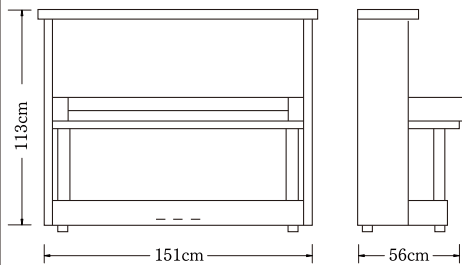




# W.HOFFMANN V-112

## Granfeel

- ・黒艶出し仕上げ
- ・3本ペダル/弱音装置付
- ・重量220kg

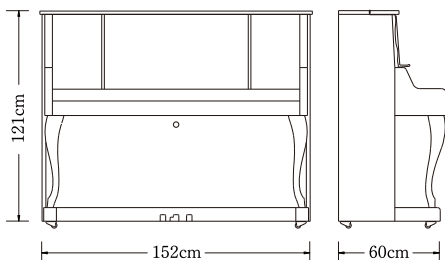


*Granfeel*®

Gf01W

*Granfeel*

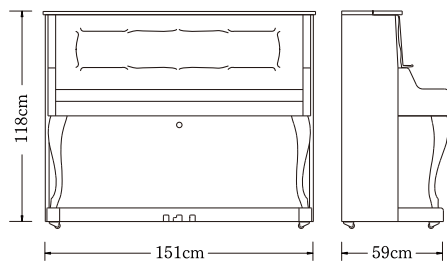
- ウォールナット 鏡面艶出し仕上げ
- ドイツFFW社製ハンマーフェルト
- 白盤/アクリライト、黒鍵/エボナイト艶消樹脂
- 88鍵(7オクターブ1/4)
- 鍵盤蓋/ソフトグリッドシステム
- 3本ペダル/弱音装置付
- 専用高低自在椅子付き
- 重量225 kgg



Gf01S

## Granfeel

- ・ウォールナット 鏡面艶出し仕上げ
- ・ドイツFFW社製ハンマーフェルト
- ・白盤/アクリライト、黒鍵/エボナイト艶消樹脂
- ・88鍵(7オクターブ1/4)
- ・鍵盤蓋/ソフトグリッドシステム
- ・3本ペダル/弱音装置付
- ・専用高低自在椅子付き
- ・重量230 kg



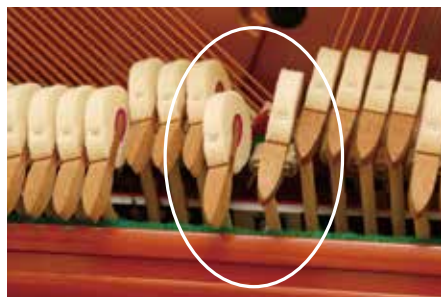
# Granfeel® グランフィールピアノのハンマーオプション

## ●ウイングハンマー



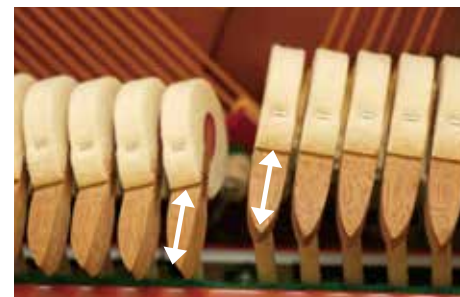
ハンマーウッドを独自の形状にして、ウッドの軽量化と空気抵抗を減少し、ハンマーヘッドの直進性とコントロール性が向上しました。

## ●サポートハンマー



セクションの端のハンマーの隣に、サポートハンマーを設置することにより、ハンマーの打弦時のブレを解消、音質を揃えることに成功しました。

## ●バランスハンマー



ハンマーウッドの重量を均一化し、従来の欠点を克服。低音部から中高音部にかけて、音量・音質・タッチ感の均一化を実現しました。

低音部

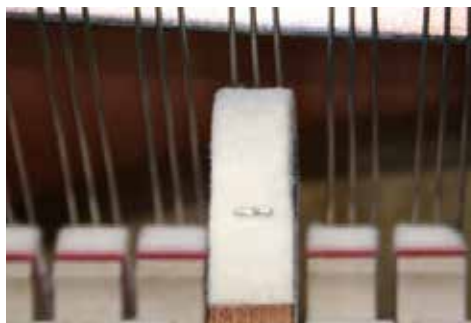
中高音部

## ●ウナコルダペダル

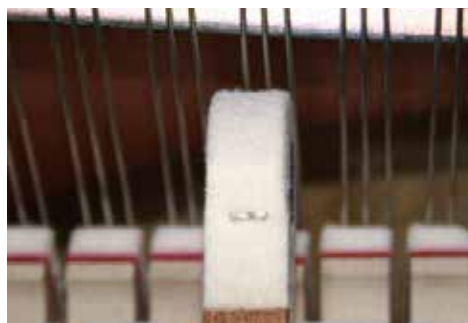
鍵盤のタッチ感はそのままだに、ペダル操作で音色を変化。

ウナコルダペダル(左のペダル)を踏むことにより、ハンマーの位置をずらし、通常ハンマーが弦を叩く位置(弦溝)ではない部分で弦を叩くことで、柔らかい音を出します。タッチ感はそのまま、鍵盤の位置も同じ。ハンマーの位置だけを変えて柔らかい音色を出せるのが、グランフィールピアノのウナコルダペダルの特長です。

### ●ペダルを踏む前



### ●ペダルを踏むと



## ●消音システム

グランフィール機能との相乗効果で快適なピアノライフを。

いつでも、気兼ねなく好きなだけピアノを弾きたい…そんな願いを叶える最新の消音システムを搭載できます。レペティション機構を備えたグランフィールピアノと連動し、連打や繊細なタッチ感をキーセンサーが読み取り、音色豊かに再現します。

消音システムとヘッドホンまたはスピーカーとの併用で、自分のタッチを耳で確認しながら、いつでも好きな時にピアノを弾くことができます。

### ●ヘッドホン



### ●GENIO Classic α

最先端のデジタル技術で消音機能を実現。高いクオリティで自由な演奏を心おきなく楽しめます。

- ・ワンタッチで消音ピアノへの切り替えが簡単に行えます。
- ・連打性の優れた高性能非接触型光センサー使用。
- ・超薄型キーセンサーを埋め込むことで大切なピアノを傷つけることはありません。
- ・操作性の優れたコンパクトデザイン。

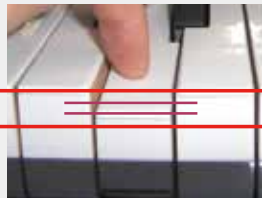


表現力UP 🏹 連打性UP 🏹 音質UP 🏹 を実現。

グランドピアノのような弾き心地を実現!!

## 機能性UP 🏹

一度弾いた鍵盤は、どれぐらい戻せば次の音が出せる?!



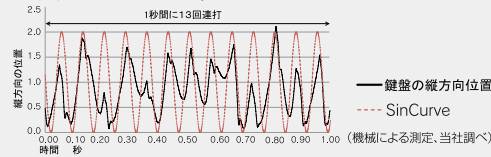
鍵盤を3分の1戻すと、次の音が出せる。

## 連打性UP 🏹

トリルや連続打鍵がスムーズ!!

### 1秒間に13回打鍵が可能

ハンマーをショット&ドロップスプリングで戻すため、トリルなどの素早い連打もスムーズ。



## 操作性UP 🏹

鍵盤コントロールが自在に出来る!!



レットオフ時の抵抗力150g

(グラムウエイトで計測、数値は一般的な例です。)

## 音質UP 🏹

力強く!きらびやかに!  
華やかに!!

6倍音、7倍音、8倍音が出現。



## 技と伝統と最新技術、感性とデータの融合。

### レイバーンサイバーチューナー

ピアノライザースペクトラム分析機能。



ピアノライザーは、スペクトラム分析機能でピアノの設計・製作・施工のレベルを明確に判断します。この機能により、“グランフィール”は、一台一台がデータベース化されています。16の部分音のピッチ、インハーモニシティ、サスティンおよび音量を測定します。また、音質に対してヴォイスिंगの必要性を説明するなど、STRING・デザインのための調査などに使用しています。

ピアノが置かれる環境や空間も様々です。レイバーンサイバーチューナーは、ピアノがその場所で鳴らされるのに最もふさわしいと思われる一つの基準を示します。

### ディップインパクト

鍵盤の深さ調整をより正確に

鍵盤の深さは音とタッチに繊細な影響を及ぼします。鍵盤の深さをより正確に調整するために発案したオリジナルゲージです。同じ強さで鍵盤を押さえるという一見簡単に見える動作ですが、とても繊細で微妙な感覚が必要とされます。指先だけの感覚に頼らず目でも確認できる、画期的アイテムを使用しています。



# Granfeel®

技を研ぎ、古今を尋ね、己を高め、役目を果たす。

ピアノは決して安いものではありません。でも、私はそれ以上の価値観を提供したいと思います。

ピアノの匠 藤井 幸光  
Yukimitsu Fujii



▲第6回ものづくり日本大賞  
内閣総理大臣賞受賞



## ■安心の5年保証

グランフィールピアノの保証期間は、5年間の長期保証となります。但し、藤井ピアノサービスの認定する調律師による年1回以上の調律、保守点検実施によることと設置環境遵守の上での保証とします。万一の故障の際は、購入店または、藤井ピアノサービスまでご連絡ください。また、保証期間中であっても一部消耗部品の交換は有料になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

多くの方に選ばれ、応えつづけるピアノでありたい。

グランフィールは、藤井ピアノサービスの特許商品、登録商標です。

## ■特許証・商標登録証・表彰



▲日本特許証



▲中国特許証



▲アメリカ特許証



▲香港特許証



▲日本商標登録



▲アメリカ商標登録



▲中国商標登録



▲ユーロ圏商標登録

●ヨーロッパ特許取得

ピアノは工場を出るときは製品です。お店に並んでいる間は商品です。納品されて調律・調整して初めて楽器になります。

## ピアノご購入にあたって

グランフィールピアノは天然木をふんだんに使っています。天然木はピアノになっても生き続けています。思いやりの気持ちを持って、ともに暮らしてください。お手入れというと、とても面倒なことに感じますが、ちょっとした気づかいでピアノはとても長持ちします。グランフィールピアノがどうか末永い家族であり続けますように。

### ピアノの設置環境

#### ■ 水平・垂直

ピアノは必ず水平な場所に垂直に設置してください。垂直でない場合、タッチや音に影響が出ます。

#### ■ 湿度・温度

天然木は湿度が多すぎたり乾燥しすぎたりするとそれに合わせて収縮・膨張してしまいます。またピアノ線も温度の変化に合わせて収縮・膨張を繰り返します。年間を通じて湿度40～60%、温度15～25℃の適した環境に設置してください。

#### ■ 直射日光

天然木は直射日光に当たると変色・変形の原因になります。窓際に設置する際はカーテンなどで直射日光を遮るよう工夫してください。特に西日の当たるところは注意が必要です。

#### ■ ピアノ椅子

ピアノ同様、水平な場所で使用してください。高さ調整をする際は、椅子から降りて行ってください。ピアノ演奏以外の目的に使用しないでください。

### ピアノのお手入れ

#### ■ 調律・調整・保守点検

ピアノは1年に一回以上の調律・調整・保守点検が必要な楽器です。音を正しい音に調律するだけでなく設置環境や使用頻度により変化するアクションや鍵盤、ペダルなどの点検も行い、変化した部分を基準寸法にすることでピアノ本来の正常なタッチを維持することができます。

#### ■ 外装のお手入れ

ピアノ専用のワックスをご使用ください。表面のほこりは柔らかい布で優しく払い、汚れは水をしめらせた柔らかい布を固くしぼってからふきとった後、乾いた布でカラ拭きをしてください。鉛筆や消しゴムのカス、シールなどがピアノの内部に入るとアクションや鍵盤の動きが鈍る場合があります。雑音の原因にもなります。できるだけピアノの上には物を置かないようにしてください。

#### ■ 鍵盤のお手入れ

手を洗い汚れを落としてからピアノを演奏するよう心がけましょう。白鍵の汚れは水をしめらせた柔らかい布を固くしぼってからふきとった後、乾いた布でカラ拭きをしてください。汚れのひどい場合は専用のキークリーナーをお使いください。

### 通常起こる現象

#### ■ ピアノ線の断線

ピアノ線は通常の使用で断線することがありますが故障ではありません。ピアノ線は取り替えることが可能ですので、ご購入店か藤井ピアノサービスまでご連絡ください。

#### ■ 経年変化

ピアノは使用してなくても季節の湿度・温度や時間の経過とともに変化します。ピアノに変化を感じたときは、状態を確認の上、調整・調律を行ってください。

### ご購入にあたっての注意事項

■ 個々の設置条件によって料金が異なりますので、詳しくは販売店にてご確認ください。

■ 生産状況により納期が異なる場合がございます。詳しくは販売店または、藤井ピアノサービスにご相談ください。

■ 本カタログに印刷された商品の色調は、実際の商品とは多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

### 音のエチケット

■ 美しい音が時と場合によっては迷惑となってしまうことがあります。ピアノを心から楽しむために、演奏に際してはご近所への心配りをお願いいたします。



〒895-0027 鹿児島県薩摩川内市西向田町15-11  
ホームページ

<http://www.fujiipianoservice.jp>

お客様相談室 0996-25-3320

E-mail : [fujiipiano@po5.synapse.ne.jp](mailto:fujiipiano@po5.synapse.ne.jp)

受付時間：木曜日以外10:00～18:00

Granfeel®

取扱店

製造・販売元

**FUJII** **p** **IANO SERVICE**  
藤井ピアノサービス

〒895-0027 鹿児島県薩摩川内市西向田町15-11  
TEL 0996-25-3320 FAX 0996-20-3990  
URL <http://www.fujiipianoservice.jp>